

| 提出方法 | 項目                              | 意見  | 対応方針   |
|------|---------------------------------|---|--|
| 委員会  | 全体                              | 内閣府の認定を取りにいくことを考えると、補助金をもらうことで何が出来るか、重点的な軸はどこなのかをはっきりと打ち出した方が良い。  | 計画書の書きぶりを全体的に修正しました。                                   |
| 委員会  | 同上                              | 実施主体同士の情報交換や連携の仕組みをどう作っていくのか。機動的に様々な主体が情報交換、連携できる仕組みづくり推進主体を作る必要があるのではないか。  | まちづくり会社とDMOとの組織集約に向け、検討を行っています。                        |
| 委員会  | 同上                              | 市としてどの事例を参考にし、どういうスタイルでやるべきかを検討していく段階ではないか。民間主導でチームを作って進めていくべきではないか。  | 事業については、引き続き検討を続けていきます。                                |
| 委員会  | 同上                              | 事業やメニューのターゲットを絞り込むことで、より具体的なイメージが見えてくると考える。例えば外国人観光客は欧米人とアジア人で需要が異なる。移住者もどのような方をターゲットにするかで呼び込み方が変化する。一つのメニューでざっくりと括らない方が良いと考える。 | インバウンドについてはDMOが主体となって分析を行っており、今後のターゲット層について検討を続けていきます。 |
| 委員会  | P4～P21中心市街地の現状に関する統計的なデータの把握・分析 | 第3回委員会で発言のあった「上野鉄砲町では若者の住宅が増えており、高齢化率は20%程度まで落ちている」という項目は、中間案には反映されないのか。  | ご指摘のとおり反映しました。<br>(具体的な町名は記載していません。)                   |

| 提出方法   | 項目  | 意見   | 対応方針  |
|--------|---|--|---|
| 提出フォーム | 同上  | 上野南部地区住民自治協議会は39ある住民自治協議会の中で伊賀市合併以後最も人口が減った自治協議会です。この統計資料からもわかるように、中心市街地の状況は、単に人口が減っただけでなく、高齢者のみの単独世帯や高齢化率の増加が深刻です。このような状況の中で商店を増やしたところで、需要がないわけですから、結果、既存の商店とのパイの奪い合いや早期の廃業を招いている状況です。この資料から読み取れることは伊賀市がいままで進めてきたような観光や商店の支援を中心とした市街地活性化から、生活が充実でき定住満足度増加による市街地活性化に、方向を変えていくことが大事であるととらえました | 居住促進の視点を反映しました。   |
| 提出フォーム | 同上  | 第2期基本計画からの大きな変更点ぐらいで良いのではないかと。悪い方向に進んでるのはわかっているので18ページもいらぬ。  | 内閣府地方創生推進事務局作成の「中心市街地活性化基本計画認定申請マニュアル」において記載が義務付けられているため、原案どおりとします。 |
| 提出フォーム | P22～P26これまでの中心市街地活性化に関する取組、第2期計画での目標指標の達成状況 | 第一期計画は内閣府の認定も得られ、ハード整備を中心に目に見える形で市街地のイメージがかわったことが市民の評価を得たような気がします。<br>一方第二期計画は内閣府の認定を得られずコロナや予算的な不安を抱えた状況でできる事業から行うことにしたため補助金を取りやすかった観光・商業に関する事業中心になってしまった。その結果中心市街地住民の要望は置き去りとなり空き家空き地が増加し衰退が進んでしまう要因になった。<br>目標指標達成については第一期計画はまあ満足できる状況第二期計画は達成には厳しい状況であった                                 | -   |
| 提出フォーム | 同上  | 少し細かすぎて理解しづらい  | -   |

| 提出方法   | 項目                 | 意見  | 対応方針  |
|--------|--------------------|---|---|
| 提出フォーム | 同上                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナであり意味がない。</li> <li>・データ分析のみであり、改善策、方向性も示せれば。</li> </ul>  | 改善策・方向性については、「3.(6)中心市街地活性化の課題」、「4.第3期伊賀市中心市街地活性化基本計画の基本方針と目指すもの」で記載することとします。 |
| 委員会    | P27～P29中心市街地活性化の課題 | 基本方針「子どもの代まで住み続けられる住みよいまちづくり」は、内容から「多世代が交流する活性化した中心市街地づくり」の方が適当ではないか。   | 「多世代が交流する、便利で住みよいまちづくり」へ修正しました。   |
| 委員会    | 同上                 | 自家用車の駐車場や下水機能が郊外に比べて備わっていない点は、「弱み」として記載し、SWOT分析にも反映させていただきたい。   | ご指摘のとおり反映しました。  |
| 委員会    | 同上                 | 課題部分と基本的な方針を切り分ける目次構成にすると分かりやすい。また、P29は大きな話、P30は具体的な話と内容がかけ離れているため、間に資料2-1のような頁を差し込み、新たに章を起こした方が良いのではないか。   | ご指摘のとおり反映しました。  |
| 提出フォーム | 同上                 | P27のワークショップの結果に書かれていることがすべて。日常で人がいて賑わうことが重要なのであって祭りやイベントなどの非日常で賑わっていても活性化とはならない。イベントや観光に過度に期待する施策よりも中心市街地が伊賀市民を中心に日常で賑わう施策に活性化に向けて第三期の事業内容を変えていく必要がある | 居住促進の視点を反映しました。   |
| 提出フォーム | 同上                 | 賑わいのある町中  | にぎわいが創出できるよう取り組んでいきます。  |

| 提出方法   | 項目          | 意見  | 対応方針   |
|--------|-------------|---|--|
| 提出フォーム | 同上          | 現状分析P27はP22～26のどれに対応するかNo.表示した方がよい。   | 複数の目標指標に対応する場合もあり、限られたスペースで表示することで視認性が悪くなる可能性があることから、原案どおりとします。                  |
| 提出フォーム | 同上          | P29の基本方針はよくまとめられているが、今までからもいわれており、なぜそれができなかったか、問題はなにを洗い出し、その対策を考えていかないと2期の延長でとまってしまう。   | 引き続き、しっかりと現状分析を行っていきます。  |
| 委員会    | P30～P42主な事業 | 4章の「主な事業」において、「伊賀市合併処理浄化槽設置整備事業」が最初に記載されているが、重要な順・効果のある順に事業の順番を入れ替えてほしい。  | ご指摘のとおり修正しました。   |
| 提出フォーム | 同上          | P30の事業は中心市街地の自治協が望んでいるものであり予算を充実させて進めていただきたい  | 地域での取組みと併せ、引き続き事業を進めていきます。   |
| 提出フォーム | 同上          | P31について若い世代の子育て支援のために0～2歳の要望があれば必ずあずかれるような、一定の保育士数を確保できる規模の保育園を道路幅があり送迎や駐車が容易な中心市街地内の場所で建設をお願いしたい   | 伊賀市保育所（園）民営化計画の進捗により、上野地域の保育所再編等が行われていく中で、既存施設の活用を基本に、3歳未満児保育の受け皿を確保していきたいと考えます。 |
| 提出フォーム | 同上          | P41公共交通について<br>本年度中に伊賀鉄道で交通系ICカードが使用できるようになり、伊賀市内を走る近鉄・JR西日本・三重交通・伊賀鉄道すべてで使えるようになる。現在島ヶ原で実証実験中のデマンド交通も含め、中心市街地での公共交通の方向性や存続に向けた事業を、基本計画にいれてほしい。 | 事業化に向け、引き続き検討していきます。   |

| 提出方法   | 項目                              | 意見  | 対応方針   |
|--------|---------------------------------|---|--|
| 提出フォーム | 同上                              | 回廊事業については上野南部地区まで回遊できるような内容も検討してほしい   | 地域からの具体的な提案や参画をお待ちしています。   |
| 提出フォーム | 同上                              | 大きな事業ではなく小規模でもいいので年間を通して出来る事業   | 地域や事業者と一緒に検討を進めていきます。  |
| 提出フォーム | 同上                              | P35の(4)を始めもってくる   | 事業種別については、内閣府地方創生推進事務局作成の「中心市街地活性化基本計画認定申請マニュアル」において記載順が定められているため、原案どおりとします。 |
| 提出フォーム | 同上                              | P37.④NINJAフェスタの観光イベントを東京から大阪、京都へシフトする。  | 大阪関西万博の開催にあわせ、今後はより関西方面への営業活動に注力していきます。                                      |
| 提出フォーム | 同上                              | ⑥にぎわう回廊のしくみがみえない。周辺環境の整備に力を注ぐ必要あり。空き家になる予定の図書館の活用が今後の大きな課題。                                   | 図書館跡の活用については、引き続き検討を続けていきます。   |
| 提出フォーム | 資料2-1「第3期伊賀市中心市街地活性化基本計画の目指すもの」 | Q3に書いたように日常で人がいて賑わうことが大事<br>安易に観光やイベントにはしるのではなく（観光や商業の役を受けてる人の声ではなく）普通の伊賀市民が満足・納得できるような事業が重要。 | 居住促進の視点を反映しました。  |
| 提出フォーム | 同上                              | 賑わい   | -  |
| 提出フォーム | 同上                              | 美術館、博物館の話を耳にするが、中活地域以外の関係のないものと考えてよいか？  | 美術博物館の立地候補地が定まり次第、計画書への掲載を検討します。   |

| 提出方法   | 項目           | 意見  | 対応方針  |
|--------|--------------|---|---|
| 提出フォーム | 資料3「事業の検討状況」 | <p>1 ページ目はそのまま進めていただいてもいいと思います</p> <p>2 ページ目MIGAIGAについて</p> <p>城泊が前提のように聞こえてくる。私も長年伊賀文化産業協会の役員をしているが伊賀文化産業協会内で城泊を容認しているとは到底思えないので先走って進めないようお願いしたい</p> | <p>MIRAIGAプロジェクトは、伊賀上野観光協会（地域DMO）を代表主体として、伊賀市、バリューマネジメント（株）、（株）NOTE伊賀上野及び（公財）伊賀文化産業協会を構成メンバーとした公民連携によるプロジェクトです。</p> <p>プロジェクト全体の目的は、地域全体のブランディングと高付加価値化を図ることで歴史的資源を核とした地域活性と歴史的継承の好循環サイクルを創出することであり、城泊は本プロジェクトの象徴的な事業として、今年度その実証実験の実施を予定しています。</p> <p>また、伊賀上野城における城泊とは、天守閣そのものに寝具等を持ち込み宿泊することを想定しておらず、伊賀上野城をはじめとする上野公園エリアと城下町エリアに点在する歴史的建造物を一体的に活用した宿泊を伴う歴史文化の体験事業として位置付けておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。</p> |
| 提出フォーム | 同上           | <p>空き店舗は持ち主の理解を得ることが困難。行政の動きに期待。目玉事業が必要。</p>  | <p>事業については、引き続き検討を続けていきます。</p>  |